



結 進 仕
団 躍 奉



発 行 者
一般社団法人 鹿児島県建築協会
〒892-0853 鹿児島市城山町2-13
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479
http://www.kagoken.net/
E-mail:info@kagoken.net

謹賀新年



出水の空を舞うナベツル
出水平野は日本一の鶴の渡来地で、国の特別天然記念物にも指定されており1万羽を超えるツルが越冬のためシベリアから渡来します。
(写真提供:出水市)

明けましておめでとう
ございます。
皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素から当協会の諸活動に対し温かいご理解・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本県建築業界の状況を申し上げますと、工事量は増加の傾向にあり期待もありますが、一部には依然として厳しい面も



業界の明るい未来にむけて
一般社団法人鹿児島県建築協会 会長 中村 明人

また、世界経済は様々な要因から、不安定なリスクを抱えており、日本経済は緩やかな回復基調とは言えるものの先行きは不透明で、中々実体経済が良くなったことを実感できない現状です。
ただ、その様な状況ではあります、前述したとおり本県の今後の建築工事は、相当な規模で増加することが予測されます。
大規模事業が各地で計画されており、業界にとってはありがたい反面、技術者・技能者不足は一向に改善されていないため、工事は発注され

ても消化しきれないという懸念もあります。
平成二十六年に次世代の担い手を確保・育成するため「担い手三法」が改正され、その中で品確法の運用指針も策定されました。指針の適切な運用により一刻も早く職人不足等も改善され、発注された工事に適確に対応し建設業界全体が良流れになるよう願っております。
また、建築業界の特に強い要望でありました「建築工事の一般管理費等」の引き上げについて国交省が検討するための調査をいたしました。この件については鹿児島県建築協会からの要望も一つの要因となり国交省も調査を開始したと聞いております。
今後は、一般管理費等の引き上げで「適正な利潤」が得られれば、担い手の確保・育成を始め、様々な課題についても改善が促進されて行くものと考えております。
週休二日制の完全実施や賃金、給与の引き上げ、若年労働者が入職しやすい労働環境の整備など、課題は山積していますが、これらを改善する

平成二十九年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
一般社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、安全かつ適正な施工を通じて、本県における建築物の質の向上と地域の建築業の健全な発展のために御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表します。



新しい力強い鹿児島の 実現に向けて

鹿児島県知事 三反園 訓

また、「社会に奉仕する力強い地場産業」を目指し、ボランティアなどの社会貢献活動等にも積極的に取り組まれるとともに、昨年の熊本地震におきましては、被災建築物の応急危険度判定に会員の皆様を派遣していただき、心から感謝を申し上げます。
さて、鹿児島は、自然環境、歴史・文化、農林水産物、どれを取っても一流であり、観光資源にも恵まれています。これら鹿児島が持っている地域資源を再発見し、鹿児島にしかない魅力をさらに

世界にPRするなど、「生まれてよかった。住んでよかった。」そう思える鹿児島を目指して全力で取り組んでいるところです。
このような基本的考え方に立って、県民の皆様にお示ししたマニフェスト「鹿児島を日本一にする6つの約束」に基づき、県政の積極的な推進を図ってまいりたいと考えております。

今後、県では、平成三十二年に本県で開催されます「燃ゆる感動かごしま国体」や、全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に向け、総合開会式等の会場になる鴨池公園運動施設をはじめ、関連施設の改修・整備を鋭意進めることとしております。また、公共施設の耐震化や長寿命化、効率的な利活用の推進等に取り組むこととしており、これらの施策を着実に進めていくためには、会員の皆様の高い技術力を十二分に発揮していただくことが極めて重要でありますので、ますますの御支援御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、一般社団法人鹿児島県建築協会の今後更なる御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念いたします。

最後に皆様方の益々のご健勝・ご多幸をご祈念し、また関係ご当局の一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。

感動かごしま大会」に向け、総合開会式等の会場になる鴨池公園運動施設をはじめ、関連施設の改修・整備を鋭意進めることとしております。また、公共施設の耐震化や長寿命化、効率的な利活用の推進等に取り組むこととしており、これらの施策を着実に進めていくためには、会員の皆様の高い技術力を十二分に発揮していただくことが極めて重要でありますので、ますますの御支援御協力をお願い申し上げます。

が広く、従来から本県の経済や地域雇用を支える上で大きな役割を担っていたと考えております。会員の皆様には、今後とも、更なる技術力の研さんや一層の経営健全化に努められ、建築業界全体をけん引していただき、安全・快適で質の高い建築物の創造に尽力されまことを期待しております。

ためにも「適正な利潤」が確保されること、中長期にわたる、安定的な事業量の確保が明確に示されること、「業界の明るい未来に向けて」の必須の条件であります。
建築工事の一般管理費を引き上げは業界の将来を左右する重要な問題でもありますので、当協会としましては、大きな期待を寄せております。
我々業界は災害時の対応など地域貢献・社会貢献にも目を向け、適切な対応をしなければなりません。地域社会と共に歩む業界でありたいと思っております。

平成二十九年の新春を迎え、皆様は謹んでお慶びを申し上げます。
私は、先の市長選挙におきまして、鹿児島市長として、四期目の市政運営の重責を担わせていただくことになりました。
「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念に、持てる力と情熱のすべてを傾注し、市政運営に邁進してまいります。



「豊かさ」実感都市・かごしまのさらなる飛躍に向けてチャレンジ

鹿児島市長 森 博幸

さて、昨年発表された国勢調査の確定値では、日本の総人口が初めて減少し、本市の人口も六〇万人を下回るなど、人口減少問題の克服に向けた実効性を伴う施策の展開が喫緊の課題となっております。
このような中、既に本格始動させている地方創生の取組に加え、今年、人口減少局面への移行を前提とした第五次総合計画の後期基本計画がスタートいたします。これらの着実な推進に取り組み、「豊かさ」実感都市、かごしまの実現に向け、力強く前に進んでま

いりたいと考えております。
人口減少問題の克服に向けては、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援が必要となります。そのため、建築分野においても、子育て世帯を対象とした市営住宅整備のほか、住宅のリフォーム・耐震化助成などに取り組んでまいります。
さらに、市営住宅など公共施設等の長寿命化等を計画的に行い、維持コストの軽減・平準化を図り、良質な住宅ストックの形成を促進するとともに、災害の未然防止や市民の生命・財産の保護を図るための空き家対策計画の策定のほか、さらなる空き家等対策の強化に資する空家活用アドバイザーの派遣制度の創設など、安心・快適な住環境づくりを推

進してまいります。
今を邁ること一五〇年前、薩摩藩はパリ万国博覧会に出展するとともに、世界文化遺産に登録された異人館が完成し、日本で初めての洋式紡績工場が操業を始めました。先人たちの果敢なチャレンジがあつてこそ近代日本の発展を支える、鹿児島発・日本初の産業を開花させることができましたものと思います。
今年、四期目の実質的なスタートの年となります。本市が、世界に冠たる「豊かさ」実感都市」としてさらに飛躍していくために、それぞれの施策の推進に強い情熱と先人たちに負けないチャレンジ精神を持って、全力投球してまいります。
本年も市政の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、新しい年が未来への夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

鹿児島労働局長 江原 由明



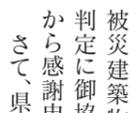
明けましておめでとう
ございます。

新年を迎え、一般社団法人鹿児島県建築協会並びに会員の皆様のご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

また、皆様には、日ごろから労働行政に多大なるご理解とご協力をいただきありがとうございますことに、厚く御礼申し上げます。

回復しつつある中で、有効求人倍率が1倍台となるなど、緩やかな改善傾向が続いているところです。鹿児島労働局として、このような状況下にあつて、総合労働行政機関としての役割を果たすべく、「働き方改革」及び「女性活躍」の推進、「雇用の安定」、「労働条件確保対策」、「安全衛生対策」、「労働保険料の適正徴収」等各種施策を展開してまいります。

特に建設業における労働災害の発生状況は、一昨年から増加傾向にあり、建築工事業においても死亡災害が発生するなど予断を許さない状況が続いています。



本年も引き続き労働局の取組に対しまして、ご理解とご協力をいただきまして、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

九州地方整備局鹿児島管轄事務所長 浅野 智



明けましておめでとう
ございます。平素より九州地方整備局鹿児島管轄事務所業務の事業推進にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年四月の熊本地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地で応急対策に関わられた皆様、いま復旧・復興にご尽力されている皆様、心より敬意を表するとともに、復旧・復興が円滑に進むことを祈念しております。

さて、県内の官庁管轄事業では、四月からの工事着手

手に向けて、鹿児島港湾合同庁舎の建て替えや名瀬合同庁舎の自家発電設備更新等の工事を発注予定で、事業を通じ、防災・減災、老朽化対策、地球温暖化対策、木材利用促進など総合的に取り組んでいきます。

また、新規に鹿児島第3地方合同庁舎の整備事業が始まり、整備局管轄部で設計を進めています。この事業は、鶴丸城跡の東側にある鹿児島法務総合庁舎を建て替え、市内にある国の機関を集約し、合同庁舎として整備するもので、整備に当たり、民間団体や県、鹿児島市が進めている御楼門・御隅櫓の復元事業や石垣修復、歴史と文化の道における景観形成との連携、庁舎機能の活用に関する連携など、国の

関係機関や県市等の協力を得て検討しており、管轄事務所としても、将来に向けた地域づくりへの貢献に努めていきます。

一方、改正品確法に基づく発注関係事務としては引き続き、工期や予定価格の設定、設計変更など適切に運用するとともに、それらの取組をマニュアルやQ&A集などにより、県や市町村の管轄担当部署へ的確に情報提供し、何かあれば気兼ねなく「公共建築相談窓口」に問い合わせてもらおうと、地方公共団体と連携して参ります。

これらの取組を円滑かつ着実に進めるため、貴協会員の皆様方のご理解とご協力が大変重要と考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。最後に、皆様方にとりまして幸多き年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

鹿児島県土木部建築技監 浦口 恭直



新年、おめでとうござい
ます。

皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、本県建築業の健全な発展に御尽力いただいておりますことに敬意を表します。また、昨年は熊本地震におきまして、被災建築物の応急危険度判定に御協力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、県有施設の整備については、昨年、鹿児島西警察署庁舎や鴨池陸上競技場屋根、鹿児島新港4号上屋などの工事を発注

住宅行政については、住宅

住宅行政については、住宅

住宅行政については、住宅

住宅行政については、住宅

住宅行政については、住宅

みんなのふるさと 躍動薩摩川内のまちづくり

薩摩川内市長 岩切 秀雄



平成二十九年の新春を
迎え、謹んでお喜びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、若手建築技術者不足の深刻化が懸念される今日、地域密着型の団体として、建築関連技術者を育成する団体への協力や、建築界の将来を支えていく人材（人材）の育成等に努められていくことに、心から感謝申し上げます。

ここ、昨年の熊本地震

ここ、昨年の熊本地震

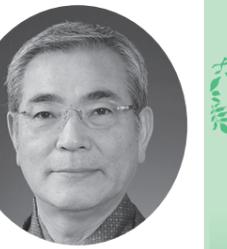
ここ、昨年の熊本地震

ここ、昨年の熊本地震

ここ、昨年の熊本地震

酉年 未来に羽ばたく 飛躍の年に

奄美市長 朝山 毅



明けましておめでとう
ございます。輝かしい新年の門出を心よりお慶び申し上げます。

さて、奄美は今、航空・航空路運賃の軽減やLCCの就航等により、交流人口は確実に伸びてきており

また、奄美は今、航空・航空路運賃の軽減やLCCの就航等により、交流人口は確実に伸びてきており

また、奄美は今、航空・航空路運賃の軽減やLCCの就航等により、交流人口は確実に伸びてきており

また、奄美は今、航空・航空路運賃の軽減やLCCの就航等により、交流人口は確実に伸びてきており

また、奄美は今、航空・航空路運賃の軽減やLCCの就航等により、交流人口は確実に伸びてきており

本号より県内の3市町村長に順次ご挨拶を頂くこととしました。

歴史と建物

鹿児島支部長 中村 明人



新年を迎えますと、新しいことや良いことが起こるのではないかと期待するのは私だけではないと思います。

先日、鶴丸城跡を散策した際のどかな風情の歴史のたまたまの中に建築用の足場を目にしました。鶴丸城御楼門の建設が本格的に着工したのだと思ひ、順調に進んで貰いたいと感じました。



鶴丸城御楼門模型(縮尺1/50) (写真提供:鶴丸城「御楼門」復元実行委員会)

台風16号から学んだこと

南薩支部長 濱田 信行



新年明けましておめでとございます。昨年は、熊本や東北で大きな地震が発生し、台風も発生するなど、災害の多い一年となりました。

普段、自然からは、あらゆる恩恵をいただいておりますが、その自然が猛威をふるった時、私達にはなすすべもなく、自然の大きさが身にしみた一年でもありました。

これは、台風によつての建物被害が多いこと、職人や資材等が不足していることが一因となっています。対応が追いつかず、申し訳ない気持ちで業務にあたる中、お客さまから、たぐさんの「ありがと。」と感謝の言葉をいただきました。

私とジャズ

北薩副支部長 井島 祐二郎



私は、福岡の高校を卒業し、鹿児島大学に入学しましたが、卒業以外で何かやろうと思ひ、いろんなクラブ活動やサークル活動を見学して回つて、あの部活に辿り着きました。それがジャズのビッグバンドです。

その後、この御楼門が歴史の証人として存在し、後世の人々に引き継がれていき、次世代の人々への伝承として生き残ることを期待しております。

東京マラソン

始良・伊佐副支部長 末重 堅司



これは、私どもの対応が遅くなつていながらもかわらず、大変な状態にあるのは、自分だけではないと捉えているからではないでしょうか。

その時にも、商品があるのが当たり前だとおぼろげに思つて、相手の置かれてる状況や気持ちを考えて、商品を届けてくださったことに感謝の気持ちが必要だと思ひました。

その時に、商品があるのが当たり前だとおぼろげに思つて、相手の置かれてる状況や気持ちを考えて、商品を届けてくださったことに感謝の気持ちが必要だと思ひました。

今年の干支は…西

曾於支部長 久徳 博文



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は、国外では、北朝鮮のミサイル連射に始まり、フィリピン、ドゥテルテ大統領の二枚舌外交旋風、予測不能なアメリカ、トランプ次期大統領の誕生、韓国、パク・クネ大統領の第

西のつく年は、商売繁盛に繋がると考えられています。それ故に、お互い運氣や有効な情報を取り入れ自分にとつても皆様にいものです。今年も宜しくお願ひします。

支部便り

鹿屋支部長 梅木 一宏



昨年九月に台風一六号が大隅半島に襲来し甚大な被害をもたらしました。台風通過後三ヶ月を経過したにもかかわらず、ブルーシートのかけた屋根や外壁がまだに散見されます。この事はひとえに、大工・左官などの職人さん不足に起因するものと考えられます。

建設会社が適正な利潤を確保し経営が安定するための改正品確法などの担い手三法が施行されて二年が経過しましたが、今回の台風災害の復旧工事が遅々としてはかどらない状況に見られるように、その効果はほとんど現れていないと思われまふ。建築関連の専

昨年九月に台風一六号が大隅半島に襲来し甚大な被害をもたらしました。台風通過後三ヶ月を経過したにもかかわらず、ブルーシートのかけた屋根や外壁がまだに散見されます。この事はひとえに、大工・左官などの職人さん不足に起因するものと考えられます。

新年のご挨拶

種子島支部長 日高 政浩



平成二十九年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事と存じます。

昨年あつという間の一年でひとつの年を重なることに年々短くなるような気がしてなりません。その中でも中村新会長をはじめ、各支部長、役員の方々には色々とお指導頂き誠にありがとうございました。そして種子島支部の会員の皆様には協会活動に御理解をいただきお世話になりました。

皆様にとつて種子島はどのようなイメージでしょうか。青い海と空、自然いっぱいの島、地元に住んでいても隣の屋敷島から比べると観光地のイメージは少ないと思ひます。

今後を見据えて

奄美支部長 松元 利道



新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨今の奄美地区内では建築工事が急激に増加しており、技術者確保が近々の急務な課題となっております。東京オリンピックを見定め、好景気の影響と、国策のマイナスイノベーションを受け、人材が不足するといった異常な事態が今まさに起きつつあります。

例を挙げると、奄美市本庁舎改築工事や奄美空港ターミナルビル増改築工事、防衛省駐屯地整備工事、県立喜界高



晴れのご受章 心からお祝い申し上げます

黄綬褒章受章

中村 明人 協和建設(株)



団塊の世代の私にとりまして、この褒章を頂いた事は、大変ありがたく、皆様のおかげと感謝いたしております。

父親が建設業を営んでおり、幼少の頃より、建設業は生活の一部でありました。時代の変遷の中、色々な出来事がありました。何事も気持ちちは「ネバーギブアップ」の精神で今日までやって参りました。今後さらに厳しさを増すであろう建設業界であります。業界発展の為、微力ながら尽力して参りたいと思っております。



国土交通大臣表彰受賞

梅木 一宏 斉藤建設(株)



昨年七月、国土交通大臣表彰を受賞いたしました。これも偏にこれまでお力添えをいただいた皆様のお陰と心より感謝していただきます。

今後とも、建築業界の発展のために微力ではございますが努力を重ねてまいります。さらなるご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



年男のコーナー 二〇一七 酉年



厄年それともお祝い？

榊建設 榊 武志

〈昭和三十三年生まれ〉



新年あけましておめでとうございます。

昭和三十三年の酉年生は五回目の年男となり「還暦」を迎えることになりました。「還暦」といえば「赤いちゃんちゃんこ」でお祝いが定番です。赤いプレゼントは魔よけと厄払いらしいので、私も赤い

は、ラウンジでカンパリソウダ。こんな素晴らしい一日のプレゼントありがとうございます。とすべての皆様に感謝してゆつくりとベッドに入る。

選暦ってやっぱりお祝いですね。次は古希かな？ またこれから世のため人のために少しづつ頑張ります。

最後になりましたが、皆様方の技術とご協力のおかげで夢を形にする事に携わることができて、も光栄に思っております。微力ではございますが、今年一年会員の皆様並びに当協会のますますの発展のために努力してまいります。

六十年に感謝

榊末廣組 山下 耕一郎

〈昭和三十三年生まれ〉



新年明けましておめでとうございます。

年男の還暦。いまいち六〇という数字にピンと来ない。受け入れがたい言葉であり、他人事のような気持ちで新年を迎えました。振り返ってみれば色々なことがありました。

二十三歳で帰鹿、自社に入社し、まずは現場から何もわからぬ状態で、先輩方々に仕事の流儀というものを教わり、仕事外

まで過ごしてこれたことは、感謝の一言につきると思います。そして、これまでずっと何も言わずに？角を出すことなく？今日まで支えてくれた家内に感謝です。

現在、北薩支部の支部長という役職を授かっておりますが、少しでも地域のため、また、今後の建設業を担う若者の育成、特に特殊作業職人の技術の継承が出来るような作業環境づくりに我々元請け企業が主体となり、取り組んで行かなければ、未来は無いと危機感を持ちながら頑張っていました。

最後になりましたが、会員の皆様方、今年還暦を迎えられた方々のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

還暦を迎えて

ヤマダチ(株) 山口 克典

〈昭和三十三年生まれ〉



新年明けましておめでとうございます。

昨年熊本の震災により被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。共に復興に尽力された協会をはじめ関係

者の皆様方には衷心よりお礼申し上げます。

今年酉(とり)年、五回目の年男として還暦を迎える年となりました。

まさか自分がこの年を迎えるとは想像しておりませんでした。しかし昨年一足先に同級生と還暦祝や各種団体のお祝いをして頂き、ひしひしと六十歳を実感すると共に

還暦を迎えるに当たって

榊阿野建設 阿野 和郎

〈昭和三十三年生まれ〉



平成二十四・五年と立て続けに襲った台風は、南シナ海に漂う我が島に未曾有の被害をもたらした。その復旧に数年の歳月を必要とした。ライフラインが途絶えた当時を思うと、今更ながら現代社会の有難さが身にしみて分かってくる。そして全国や協会

の仲間から頂いた支援に深く感謝したことだ。倒壊の建物は数百年を超え、観光ブームで軒を連ねた建物の老朽

化や確認無しの建物において、手抜き工事が日常的に行われていたことが露呈された格好となった。二年前から、与論はマスコミに頻りに登場し、あるテレビ番組で世界で最も行きたいビーチに与論の割合が浜が選出され、徐々に観光客が増え、町は活気づいているように見える。それに伴い、新

に、亡母の年を超えられた事に様々な思いが去来し感慨深いものがあります。今日まで皆様に支えられ無事過ごす事が出来ました。心に感謝申し上げます。六十歳は六十歳、私がどう感じようと事実でありませぬ。現在の老人には恐るべきものがあります。悔らないようにと意気込んでみても日頃から衰えを実感しているのも確か。その老いに染まる事なくこれからの歩いて行きたいと思っております。今年もよろしくお祈り申し上げます。

酉にわとりに関する豆知識

今回は、にわとりの中でも鹿児島県を代表する「薩摩鶏」の豆知識です。

鹿児島が世界に誇れる勇壮さと美しさを兼ね備えた鶏種で、体が大きく気性も激しかったため、古来、南九州独特の剣付闘鶏としても使われ、島津家入府後は藩主自らこの文化の保持をしてきました。

現在は観賞用として、または高級鶏肉作出の種鶏用に飼育されています。東南アジアの熱帯圏に生息している赤色野鶏(セキショクヤケイ)を家禽化したものが鶏のルーツと言われていますが、薩摩鶏の肉質は極めてこの種に似ているそうです。

文化財保護法により国指定の天然記念物に指定されている薩摩鶏ですが、飼育の難しさや産卵回数、他品種に比べて少ないため、飼育数は減少傾向にあり、県内には約千羽が現存するだけで絶滅の危機に瀕しています。

日本薩摩鶏保存会があり、種卵、ひな、種鶏の分譲は相談に応じてもらえます。

雄の羽色には、赤笹、白笹、太白、総黒などの系統があり、毛並みが揃い、美しい姿になる三月中旬に品評会が行われます。(今年は三月十二日(日)午前8時から加治木総合支所グラウンドで開催。雨天順延)



薩摩鶏・白笹 (写真提供：日本薩摩鶏保存会)

- | | | | |
|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|
山口 克典
ヤマダチ(株) |
山下 耕一郎
榊末廣組 |
阿野 和郎
榊阿野建設 |
阿部 和郎
榊阿野建設 |
|
山口 克典
ヤマダチ(株) |
山下 耕一郎
榊末廣組 |
阿野 和郎
榊阿野建設 |
阿部 和郎
榊阿野建設 |
|
岩澤 美紀雄
大英建設(株) |
中野 力丸
中野建設(株) |
中野 力丸
中野建設(株) |
中野 力丸
中野建設(株) |
|
中野 力丸
中野建設(株) |
中野 力丸
中野建設(株) |
中野 力丸
中野建設(株) |
中野 力丸
中野建設(株) |

(五十首順敬称略)

2016かごしま▶
住まいと建築展
(10月21日~23日)



◀建築積算等に関する研修会
〈担当:工事委員会〉
(10月26日 曾於)
(11月2日 出水)
(11月8日 南さつま)
(11月10日 鹿児島)



▲合同安全パトロール(反省会)
〈担当:労務委員会〉(11月24日)

▼合同安全パトロール(11月24日)
労務委員による安全パトロール(10月28日)
〈担当:労務委員会〉



自民党県議団建設問題調査会との
協議会
〈担当:総務委員会〉
(12月2日)



協会の動き



◀県内工業高校先生方との
情報交換会
〈担当:研究開発委員会〉
(4月22日)

平成28年度通常総会▶
(5月27日)



▶集団献血
〈担当:建築協会各支部〉
(7月29日 他)

▼鹿児島県との協議会
〈担当:総務・工事委員会〉(10月18日)



▲「建築の日」ボランティア〈担当:建築協会各支部〉
(9月17日 他)

建築現場の安全管理
(平成二十七年版)



イメージアップシート
協会キヤッチフレーズ
「地域に感謝と
責任を」
懸垂幕
「安全は あせらず
無理せず 油断せず」
横断幕
「安全な職場が咲かす
みんなの笑顔」



現場の安全意識の
向上とイメージ
アップにお役立て
下さい!
写真は現場での実際
の活用例です。(ご購入
は建築協会事務局
まで)



井上 勝巳
(株)井上建設
[始良・伊佐支部]



荒木 康之
(株)新中建設
[始良・伊佐支部]



山下 鉄美
(株)ヤマシタ
[始良・伊佐支部]

新入会員紹介
よろしくお願ひします(会社名五十音順)

労務委員会の事業の一環
である安全祈願祭及び第
四十回安全大会が一月十一
日、鹿児島県護国神社にて
開催され、約百名が参加し
ました。
厳かに執り行われた安全
祈願祭では、来賓・建築
専門業団体・建築協会の代
表が玉串を奉げ安全を祈
願しました。
その後、場所を講堂に移
し、建築協会会長の挨拶で
始まった安全大会では各
種表彰の授与や来賓の方
々よりご祝辞を賜った
後、大会宣言をもって締め
くくられ、今年一年の無事
故・無災害を誓い合いまし
た。
各種表彰者の受賞は次
の通りです。

(敬称略)

(仮称)新築(庁舎棟)



安全祈願祭での「安全の誓い」

- ☆平成二十八年度
一般社団法人鹿児島県
建築協会会長表彰
功績賞
大迫 勝充
大塚建設株式会社
安全衛生管理優良賞
田川・興南特定建設工
事共同企業体
工事名:南九州消防署
(仮称)新築(庁舎棟)
- 個人賞(職長賞)
和田 邦治
大塚建設株式会社
- 個人賞(功労賞)
梅井 銀二郎
中央建設株式会社
- 個人賞(功労賞)
大塚建設株式会社

- (発注者:指宿南九州
消防組合)
上山建設株式会社
工事名:西伊敷小学
校校舎1号棟大規模
改造本体
(発注者:鹿児島市)
- 株式会社久保工務店
工事名:鹿児島南高
校大規模改修(1期)
その他(管27番棟他)
(発注者:鹿児島県)

安全祈願祭第四十回安全大会

新春恒例の「新春建築四団体合同賀詞交歓会」が一月四日城山観光ホテルにて開催されました。
初めに主催者を代表し主管である当協会中村会長の挨拶のあと、来賓の方々より祝辞を頂き、来賓や各団体会長が法被を着て鏡開きが行われ、建築士事務所協会会長東條正博様の乾杯発声の後、出席者はしばし歓談をしました。
交歓会には来賓をはじめ建築四団体会員が多数出席し、盛大な催しとなり新年の門出にふさわしい輝かしい幕開けとなりました。



新春建築四団体合同賀詞交歓会

平成二十九年



青年部会

新年のご挨拶

一般社団法人鹿児島建築協会
青年部会 部長 堀ノ内 茂樹



新年あけましておめでとうございます。昨年四月より、鹿児島建築協会青年部会第九代部長を拝命致しております。堀ノ内茂樹でございます。

今年度は、鹿児島建築協会青年部会におきましても創立二十周年という節目の年でありました。創立記念式典では、鹿児島建築協会会員の皆さまをはじめ、この建築協会青年部会の礎を作った先輩の方々、鹿児島県において活躍されています。鹿児島建築協会青年部会様、鹿児島建設業青年部会様、鹿児島電気工業工業組合青年部協議会様や、我々に日々建築の優れた技術を提供して下さっています。鉄構工業会様・タイル工業協同組合様・建具組合連合会様・畳工業組合様等々、各専門業種の青年団体、青年部の方々にもご出席賜り、開催させて頂く事が出来ました。そして、例年、次世代の建設業界を担って頂く、鹿児島県内の建築関連の工業高校生を対象とした、建築の

魅力と楽しさを伝える意見交換会。また、経営者自身スキルアップを図るべく、時代の変化に対応し得る経営者として持つべき資質の研修会等も開催させて頂きました。常に時代は変化し続けています。今後も時代の変化に対応し得る先駆者となる様、青年部会会員一団団結して、後世に誇れる故郷を残せる様、活動して参りたいと思います。

結びに、今年の干支は西(とり)であります。一説によりますと西(とり)は「取り込む」に繋がるとも言われており、運氣もお客様も取り込めると言う意味があり、西年は商売繁盛に繋がるとも言われている様であります。今年も、全ての皆さまにとりまして、素晴らしい飛躍の一年となります様ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新入会員です
よろしく
お願いします！

株式会社建設 吉留 磨
活動委員会

総務・IT委員長
内村 明高



新年あけましておめでとうございます。昨年四月より青年部会の総務・IT委員長を務めております。内村明高と申します。

昨年大きな活動として、「青年部会創立二十周年記念式典・祝賀会」の設えを担当いたしました。二十周年で関わっていただいた建築協会、青年部会OBの皆様とともに活動を振り返り、創立からの貴重な経験を改めてお聞かせいただき、温かいご意見を頂戴しました。さらに、建築・地域の発展に関わる二十を超える青年団体の皆様にもお越しいただき、率直な意見交換をするこ

とができました。青年団体同士の、新しい関係の一步を踏み出せたように感じています。貴重な体験をさせて頂きました。関係者の皆様にも本当に感謝いたします。今年も、青年部会メンバー同士のコミュニケーションを活性化し、関わる皆様に活動が伝わるような働きをしてまいります。改めてご支援のほど、よろしくお願いたします。

感的なプログラムを用意し、大変好評をいただきました。今後はこれをさらに発展、継続させ、若い人材が県内の建築業界に魅力を感じてくれるような交流活動をしていきたいと考えています。未熟な点が多いとは思いますが、建築業界の発展のため、ご指導、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

会員研修委員長
森 義大



新年明けましておめでとうございます。昨年は、会員研修委員会の活動に際しまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、委員会活動におきまして、昨年九月に「経営者講習会」を開催いたしました。D.S.Kプランニングの藤本様を講師にお招きし、「成長している建設会社の経営手法」というテーマで全国の様々な建設会社の事例を参考にしながら説明を頂きました。工事予算書の作成の仕方、経営者としての心構えなど、学ぶ事の多い非常に有意義な講習会だったと思います。また、十一月には三県(宮崎県、熊本県、鹿児島県)合同懇談会を、本県主管で行いました。宮崎県、熊本県から多くの青年部会員

にお越し頂き、懇談の機会をつくる事ができました。そして当日行った勉強会では、昨年熊本県で発生した震災の復興状況や、青年部会としての活動報告など討議する場も設け、防災に対する意識の向上を図りました。今年度も残り僅かとなりましたが、委員会メンバーと共に青年部会活動に邁進する所存でございますので、今後共、会員の皆様のご支援、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



定時総会(総務・IT委員会)
(平成28年4月15日)



創立20周年記念式典・祝賀会(総務・IT委員会)
(平成28年6月17日)



経営者講習会(会員研修委員会)
(平成28年9月23日)



三県合同懇談会
(会員研修委員会)
(平成28年11月18日)



学生との交流会in鹿児島工學院
専門学校(活動委員会)
(平成28年9月15日)



かごしま住まいと建築展
(活動委員会)
(平成28年10月23日)